

市議選のポスター

掲示場の公営化を検討

市議会では、市議会議員選挙のポスター掲示場を公営化することを検討しています。市議会議員選挙のときは、いつも市内いたる所に選挙ポスターが掲示され、街の美観を損ねています。しかも、むだのようにも思えます。これは公職選挙法が、人口五十万以上の指定都市を除いて、市議会議員候補者一人のポスターを一千二百枚まで掲示できると定めているからです。しかし、次の選挙からは、候補者の政見を記載した選挙公報を、有権者全世帯に配布することになったので、ポスターの掲示枚数を自衛するたため、公営の掲示場を設け、そこ以外にはポスターを掲示しないようにしようというものです。すなわち、県知事や国会議員の選挙のときのように掲示場を設けて、そこにだけポスターを掲示する方法です。このような方法に対しては公職選挙法で、一千二百枚まで掲示を認めているのに、それを制限するようなことは、違法であるとの見方もあります。

しかし、県内の二十市中、三分の二ほどが、公営化に踏み切る方向にあるので、市議会でも実施の方向で検討することになっています。市の市議会議員選挙は、七月に行われますが、市議会でも、四月に行われる他市の選挙を参考にして、五月中には結論を出す意向です。なお、公営化する場合は、議員提案で条例化される見込みですが、公職選挙法との関係で、強制力のないものになります。

民生委員の変更

民生(児童)委員の交代があり、次の人が新しく活動することになりました。

- 今泉好子(早通南五ノ一)(氏名、住所、担当区域)
- 早通南興住宅(一、二、三)
- 日向豊子(早通北五ノ三)
- 早通北興住宅(五、六、七)
- 荒木光雄(高森)高森、兄弟堀、胡桃山

明るい選挙の推進 青年と婦人が研修会

今年は県議会議員、市長、市議会議員の選挙が行われる年です。私たちに一番身近な選挙で、選挙運動も活発に行われます。これに對して私たちがどのような考えや態度で選挙に臨んではいけないでしょうか。



研修会で話題になったこと

- 事前運動が、かなり行われている。同級会や新年会に酒が届くという話がある
- 自治会推薦以外の候補者のポスターを家の前に掲示したら文句をいわれた。
- 選挙に金がかかりすぎるため、立候補する人が限られてきたようだ。
- 候補予定者に、酒などを出すように仕向ける風潮がある。
- 候補者からの贈り物などは、断わる勇気がほしい。
- 若い人の選挙はなれが目立つ
- 若い人は、選挙は汚いものだと思っつけている。自分たちの手で、よくしてゆかなければ。

(写真は研修会の分科会)

今年の選挙日程

今年は、地方選挙の年です。このほか、土地改良区の総代選挙も行われます。選挙は、次の日程で行われる予定です。

県議会議員選挙	告示	3月27日
	選挙期日	4月8日
市長選挙	告示	4月12日
	選挙期日	4月22日
大沼土改総代選挙	告示	5月16日
	選挙期日	6月5日
葛塚土改総代選挙	告示	5月22日
	選挙期日	6月12日
市議会議員選挙	告示	7月12日
	選挙期日	7月22日

工業統計調査

事業所数五年ぶりの増加

昨年一年間の市内の工業活動状況を調査した工業統計調査の結果が、商工課でまとまりました。

事業所の増加は五年ぶりのことです。新設によるものが六事業所で、他の産業からの転業が一事業所となっていました。また、廃業が一事業所となっていました。

五十二年一年間の製造品出荷額は、百二十九億八千九百九十万円でした。また、これを産出したのは百十事業所で、従業者数は一千四百四十六人でした。五十二年との比較では、事業所数で五事業所が増加し、従業者数は五人、製造品出荷額は六億二千六百九十九万円増加しました。

従業者規模別

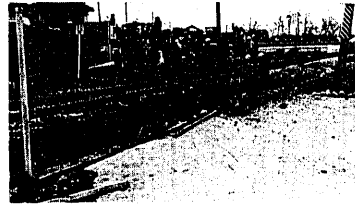
従業者数	事業所数	従業者数
総計	110	1,446
1人～3人	34	83
4人～9人	33	192
10人～19人	25	334
20人～29人	6	149
30人～49人	6	210
50人～150人	6	478

一事業所当たりの製造品出荷額は、前年に比較して八十四万円

産業別事業所数等

事業所数	従業者数(人)	製造品出荷額等(万円)	
食料品	30	586	561,853
繊維工業製品	4	25	10,954
衣服・その他繊維製品	5	97	28,075
材木・木製品	4	83	118,190
家具・装備品	3	X	X
パルプ・紙・紙加工	5	115	292,895
出版・印刷	2	X	X
窯業・土石製品	14	131	93,773
金属製品	14	110	120,101
一般機械器具	13	112	29,125
電気機械器具	6	65	6,987
輸送用機械器具	3	38	17,316
その他の製品	7	66	11,763

秘密のもれるおそれのある数は、Xとしました。



橋と踏切の工事

他門大橋と下大口踏切の改良工事が行われています。他門大橋の工事は、橋のそをを広げ、歩道をつけるもので、自動車のカーブも楽になります。下大口踏切の工事は、道路が、拡幅されたので、踏切も広げるものです。いずれの工事も3月中には完了します。写真上は他門大橋、下は下大口踏切

葛塚菜園芸組合 朝日農業賞代表に

太田地区の葛塚菜園芸組合(音田健作組合長)は、このほど昭和五十二年度新潟県朝日農業賞を受賞し、三月九日新潟市平安閣で表彰されました。

同組合は上黒山、村新田地区の農家三十八戸、二百四十四人で組織、春トマトや秋キュウリのハウス栽培を主力にした施設園芸組合で昭和四十五年八月に結成されたものです。今回の受賞内容は「稲作転換を先取りした積雪地の大型施設園芸産地の活動」が評価されたものです。

朝日農業賞は朝日新聞社が主催するコンクールで各種の農業賞の中でも權威のあるものです。なお同組合は昭和五十三年度の優良生産組合として県知事も受賞しました。

官公署長の異動

○豊後豊栄電報電話局長長谷谷常雄退職、後任に大野町電報電話局長から水田角平

○豊栄警察署長富樫義隆新潟南署長へ、後任に相川署長長谷川敏博

ありがとうございました

豊栄市建設業協会(会長坂井春三)は、福祉基金として五十万円を社会福祉事務所に寄付しました。